

# 実践ソーシャルワーク塾

FIELD OF SOCIALWORK PRACTICE



## 短期集中コース第2期塾生募集!!

この秋、12年目を迎えた実践ソーシャルワーク塾が、地域を基盤としたソーシャルワークの実践力向上を目指すプログラムを、大和市にて短期集中で開催します。

～新時代に耐えうるソーシャルワーカーを目指すあなたへ～

人々のニーズが多様化、複合化する中で、今、機関職務や既存の制度枠組みを超えた実践能力が問われています。実践ソーシャルワーク塾では当初からソーシャルワークが持つ固有の課題設定や資源開発の機能に着目し、分析、発信、構成、展開など実践力養成に焦点を置いた独自研修を実施。分野を問わず輩出された塾生による横断的ネットワークは各地で実績をあげています。今回、県央エリアに短期集中日程での開講により、エリアや日程確保で参加が難しかった方にも配慮しました。また、10月と1月の開講日の間にフィールドワークを行って頂く場を設定し(詳細は講義時に説明します)、急速に変容し見えづらさを増す現代的な実践フィールドへの展開にも力を入れます。

**開講日 2017年10月28日(土)・29日(日)・**

**2018年1月27日(土)・28日(日) 9:20～16:30**

○場 所 社会福祉法人県央福祉会 会議室 大和市中心2-3-19 ウエスト・ビルディング 4F  
(小田急・相鉄「大和」駅西口を出て徒歩5分 ※会場はやむを得ず変更となる場合があります。)

○内 容 専門職アイデンティティ/権利擁護/総合相談/専門職業業務のソサエティ/インテグレーション…他

○対 象 社会福祉士の資格を有し、相談援助業務の実務経験が3年(資格取得以前分を含んで可)以上であり、社会福祉士の業務構築に関心があり、必要だが学びにくいソーシャルワーク専門の実践力を学習したいとお考えの方

※相談援助業務は、下記の社会福祉士国家試験「相談援助業務」を参照ください

[http://www.sssc.or.jp/shakai/shikaku/s\\_11.html](http://www.sssc.or.jp/shakai/shikaku/s_11.html) (右下のQRコードからも読み込み可)

○受講要件 自己の体験や事例を積極的に提供し実践的な学習に貢献する意欲を持つこと。  
原則、全日程参加が可能であること。PC環境が整っていること。  
(ファイル添付可能なメール操作・Word/Excel必須)

○定 員 25名(研修のねらい・受講要件に照らし選考あり)

○監修・講義 塾長 菊池健志・実践SW研究会セカンドステップメンバー

○受講料 社会福祉士会会員 16,000円(全国の各都道府県社会福祉士会可)  
非会員 30,000円 ※同時入会手続きにより会員扱いになります。

○申込方法 別添えの申込書、またはホームページよりダウンロードした応募書類に記入のうえ、FAXまたはEメールで応募ください。

Eメール: [fswp18@yahoo.co.jp](mailto:fswp18@yahoo.co.jp) 実践ソーシャルワーク研究会

FAX: 045-317-2046(公社)神奈川県社会福祉士会事務局

※応募書類は <http://www.geocities.jp/csw2009net/cswtop.htm> からダウンロードできます。

○お問合わせ 上記Eメールまたは046-267-1038(養護老人ホーム敬愛の園・今村洋子)

○募集期間 平成29年8月1日(火)～平成29年9月20日(水) 午後4時必着



# 実践ソーシャルワーク塾(FIELD OF SOCIALWORK PRACTICE)

## 短期集中コース第 2 期のご応募をお考えのみなさまへ

問 1 欠席した場合、次の塾の講義についていけますか？

(答) 原則、全日程参加が条件となりますが、止むを得ない理由等で欠席された場合でも次の講義にスムーズに参加できるようできる限り配慮しています。ただし、資料の取り置き、受講料の返金はいえませんが、予めご了承ください。

問 2 身体的理由等により受講にあたって配慮をお願いしたい場合はどうしたら良いですか？

(答) 個別にメール等でお問い合わせください。

問 3 横浜エリア（屏風ヶ浦ケアプラザ）で開催されている実践ソーシャルワーク塾とはどちらがうのでしょうか。

(答) カリキュラム内容は同じものとなっていますが、短期集中型ならではのプログラムも準備しています。これまでエリアや日程確保で参加が難しかった方もぜひご参加ください。

問 4 横浜エリアとの相互受講・途中受講は可能ですか。

(答) 横浜エリアと県央エリア間の相互の途中受講はできません。

問 5 相談実務経験とはどんなものですか？

(答) 認定社会福祉士認証・認定機構が認める実務経験

([http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04\\_kojin/01\\_tetsuzuki.html](http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html))※1 と同じです

(社会福祉士の受験資格※2 で問われる実務経験より広く設定されています)。尚、資格取得以前の相談援助の実務経験も含めて 3 年以上あり、その他の条件を満たしていれば、資格取得時期は問いません。

※1 保健医療福祉領域の行政機関、各種相談所、福祉施設、医療機関、介護保険事業所等で行われる広範な相談援助業務が含まれます。介護支援専門員の居宅介護支援業務も含まれます。

※2 厚生労働省社会局長、厚生労働省児童家庭局長通知（昭和 63 年 2 月 12 日付社席第 29 号）『指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について<別添 1 指定施設における業務の範囲等><別添 2 指定施設に準ずる施設における相談援助の業務の範囲>』（社会福祉振興・試験センターホームページ [http://www.sssc.or.jp/shakai/shikaku/s\\_11.html](http://www.sssc.or.jp/shakai/shikaku/s_11.html) 参照）。

問 6 現在、社会福祉士会会員ではありませんが、応募できますか？

(答) 会員・非会員を問いません。会員の方は会員価格の受講料で受講いただけます。応募時点で会員でなくても、応募後事務局を通じ、受講時までに入会手続きを済ませていただくことで、会員価格で受講可能です。（詳細は、事務局に直接ご相談ください。）

※カリキュラムの詳しい内容や応募書類のダウンロード等については、

<http://www.geocities.jp/csw2009net/cswtop.htm> もしくは右下のQRコードよりアクセスしてご確認ください。

ご不明な点はメール [fswp18@yahoo.co.jp](mailto:fswp18@yahoo.co.jp) 、又はお電話でお問い合わせ下さい。

046-267-1038（養護老人ホーム敬愛の園・今村洋子）

